



神奈川歯科大学附属病院 ニュースレター

2025年9月1日発行 16号

病診連携懇談会を開催

副病院長 小松 知子

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本学附属病院の診療ならびに地域歯科医療の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学附属病院は 8 年前に新病院へ移転し、医科系を含む診療科の増設と新任診療科長の着任を重ね、地域連携の受け入れ範囲を広げてまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせておりましたが、6 年ぶりに地域の歯科診療所・病院の先生方と「病診連携懇談会」を開催いたします。

本会は、一般歯科の“かかりつけ”機能を基盤に、日常診療と必要時の専門的治療・入院加療を双方向に結び、医療的ケア児や要介護高齢者など地域の歯科診療所での対応が難しい症例についても、紹介・逆紹介の動線、日常的な相互相談、画像・検査情報の共有を通じて、地域で切れ目なく患者さんを支える体制を共にすることを目的としております。

当日は、本学附属病院各診療科の受け入れ体制・連絡窓口の最新情報をご案内するとともに、連携のあり方や必要な情報提供の標準化について意見交換を行いたいと存じます。顔の見える関係づくりを通じて、地域での包括的な連携によるシームレスな医療提供で患者さんの利益を最大化できるような取り組みにつなげてまいりたいと存じます。

ご多忙の折恐縮に存じますが、ぜひ貴院からのご参加をご検討ください。事前アンケートへのご協力ならびに当日取り上げたい課題のご提案も歓迎いたします。皆様と率直に意見を交わし、今後の連携を一歩進める機会となれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

開催日：2025年11月19日（水）予定

* 開催の詳細が決定しましたら、改めてご案内させていただきます。



かながわ顎矯正・診療連携ステーション

◇ 設立趣意書

主宰：末永英之



2025年4月より、神奈川歯科大学附属病院口腔外科 教授・診療科長を拝命し、新たな体制のもと、「かながわ顎矯正・診療連携ステーション」を設立いたしました。本ステーションは、顎変形症をはじめとする外科的矯正治療のさらなる質的向上を目的とし、地域の矯正歯科・美容外科などの関連医療機関との緊密な連携体制を構築することで、安全・安心かつ高精度な顎矯正手術を提供することを目指しております。

当科では、仮想手術計画（VSP）に基づき、骨干渉部を除去する精緻な骨切り技術、ならびに仮想プレートやCAD/CAMスプリントを用いた高精度な位置決め技術を実践しております。さらに、マーカーレス拡張現実（AR）支援手術や、人工知能（AI）による顔面の黄金比を考慮したVSPなど、当科が独自に開発した新しい技術を積極的に臨床へ応用し、より低侵襲かつ高精度な次世代の顎矯正手術の実現に注力しております。

これにより、機能的な改善にとどまらず、フェイスライン形成など審美面にも配慮した個別最適化治療が可能となり、サージェリーファーストをはじめとする多様化する患者ニーズへの柔軟な対応を実現しています。また、当院矯正歯科との連携体制を一層強化し、術前から術後まで一貫した治療方針のもと、チーム医療を推進することで、患者様に安心して治療を受けていただける環境づくりに努めてまいります。

今後は、大学病院としての使命である教育・研究機能も最大限に活用しながら、本ステーションが神奈川県を中心とした広域において、顎変形症をはじめとする外科的矯正治療の中核的専門拠点としての役割を果たしていく所存です。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

末永英之：口腔外科 教授・診療科長

略歴：

2000年 日本大学 松戸歯学部 卒業

2004年 東京大学大学院 医学系研究科 外科学専攻 修了、博士（医学）

東京大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科・矯正歯科 医員、助教、講師、

東京大学大学院 医学系研究科 外科学専攻 感覚・運動機能医学講座

口腔顎顔面外科学分野 准教授を経て、

2025年4月 神奈川歯科大学 歯学部 臨床科学系 口腔外科学講座

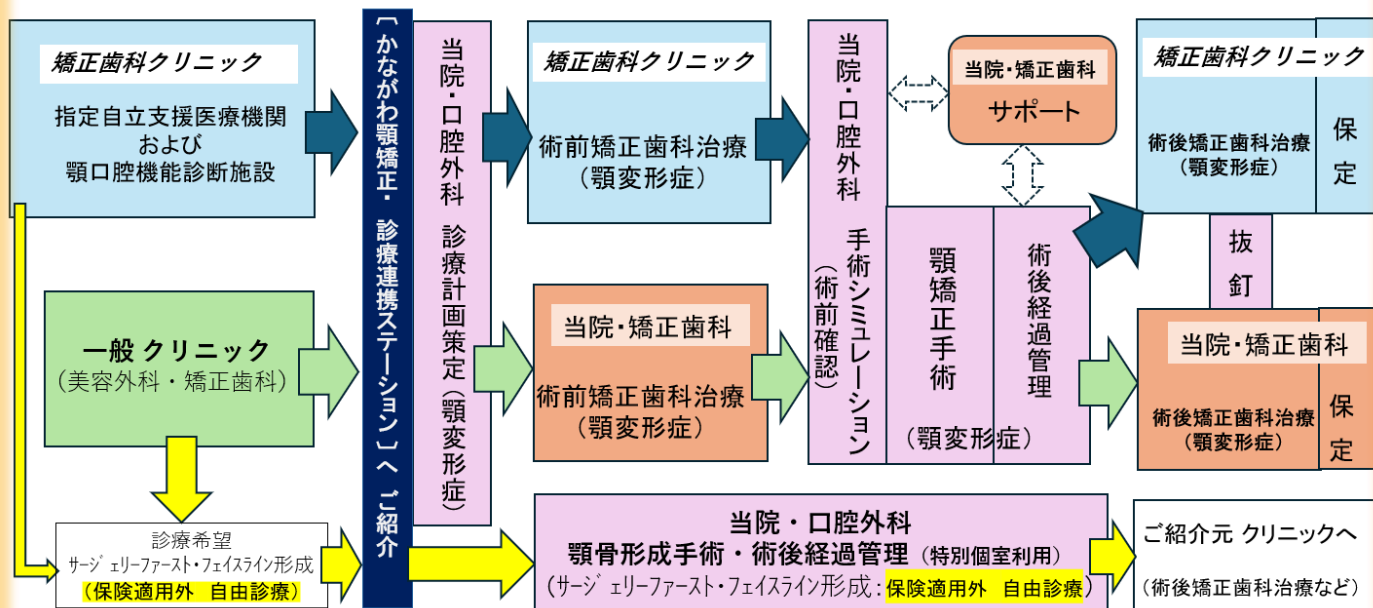
口腔外科学分野 教授、分野長、診療科長



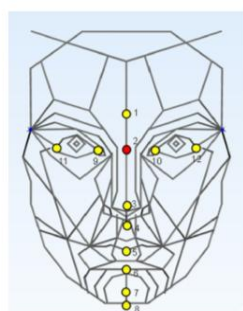
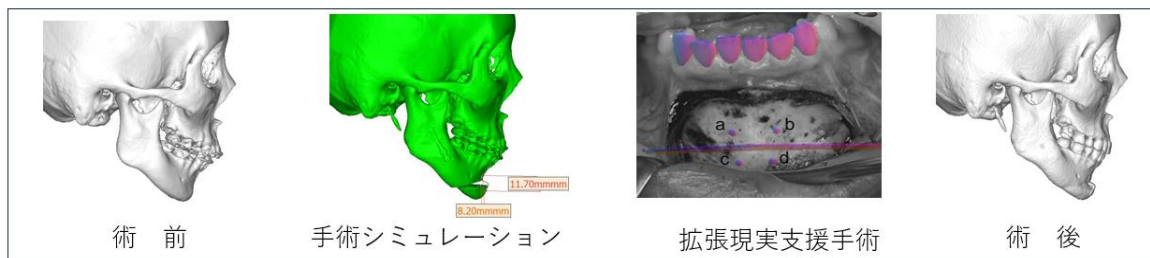


かながわ顎矯正・診療連携ステーション*

* 各医療機関様と連携して、顎変形症（公的保険）および
サージェリーファースト・フェイスライン形成（自由診療）の専門拠点として対応致します



黄金比へ導く 拡張現実支援手術による次世代の骨切り術



理想的な顔の黄金比

- ・下顎骨矢状分割骨切り術
- ・オトガイ形成術（前方移動・長さの短縮）＋下顎角形成術（えら形成術）

術後は理想的な顔の黄金比に近づく

私たちが発明した特許技術（特許第 6566420 号、米国特許 US 10,492,872 B2）で国際学術誌にも掲載された世界初の先進技術です。

Suenaga H: Oral *Maxillofac Surg* 29:78, 2025

Suenaga H: *J Maxillofac Oral Surg* 24:340-342, 2025

Suenaga H: *Int J Med Robot* 20:e2651, 2024

* かながわ顎矯正・診療連携ステーションに関するご不明点やお問い合わせ、また、患者様のご紹介につきましては以下の専用アドレスからご連絡をお願い致します。

メール：kdu.st@kdu.ac.jp : 右の QR コードから
担当者：地域連携室 佐藤・磯部・砂子



ことばのきょうしつ

◆ 開設から 2 か月のご報告

本年 5 月に開設された「ことばのきょうしつ」では、これまでに 42 名のお子さんにご来院いただきました。今後の予約も含めると、60 名を超える方々に認知され、今後利用が見込まれています。

本学では、開設当初からの目的である未就学児への早期支援に重点を置いた支援体制を整えてまいりました。実際に来院されているお子さんの年齢は 2 歳から 13 歳までと幅広いものの、現在は約 7 割が未就学児を占めています。また、来院された方の約 9 割が週 1 回の定期的な言語訓練を開始しており、定期訓練に移行していない方も、経過観察という形で継続的なフォローを行っています。

相談内容としては、「ことばが遅い」「発音がはっきりしない」といった言語発達の遅れや構音に関するものが多くを占めています。その他にも「会話のやりとりがうまくできない」「食べ方が気になる」といった、コミュニケーション面や摂食に関するご相談も多岐にわたります。また、園や学校の先生からの指摘や、集団場面での困りごとをきっかけに受診されるケースもみられます。

「ことばのきょうしつ」では、診断名の有無を問わず、ことばやコミュニケーションに不安を感じているすべてのお子さんに対応しています。「少し気になる」「まずは相談だけでも」という段階から、安心してご来院いただける環境づくりに努めています。今後も歯科医療との連携を活かしながら、地域の子どもたち一人ひとりの発達に寄り添った支援を継続してまいります。



地域連携室から

神奈川歯科大学附属病院では地域連携室で他医療機関からのご紹介や患者様からのご相談、予約管理に対応させていただきます。

お気軽にご相談下さい。

〒 238-8570

横須賀市小川町 1-23

神奈川歯科大学附属病院 地域連携室

電話 046-822-8877

FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

